

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	都市ブランド

●目指す姿

●かかみがはらブランドの価値を高め、市内外に発信することにより、移住・定住促進につながっています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）住み続けたいと思う市民の割合	74.5%	-	73.5%				UP	広報課
（主）活気がある賑やかなまちと思う市民の割合	39.9%	-	41.0%				UP	広報課
（客）地域ブランド調査による本市の魅力度	3.5点	1.4点	2.7点				7.0点	広報課

●施策の方向性①かかみがはらブランドの形成

事業番号	81101	事業名	かかみがはらブランド形成事業	担当課	広報課
事業概要	シティプロモーション戦略プランに基づき、他市と差別化を図った本市の良好な都市イメージを創出することによって、交流人口・定住人口の増加を目指します。			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 シティプロモーション戦略プランに基づき、ブランドコンセプトに関連づけた「魅力づくり」のアクションプランを市内横断的に展開している。本市のシティプロモーションは、市民と共に価値を創る「価値共創」を基本理念に掲げており、市民参画できるアクションプランを実施するとともに、シティプロモーション推進体制の構築を推進している。</p> <p>【課題】 良好な都市イメージを形成につなげるため、各事業課が実施するアクションプランとのコミットをより深めていく必要がある。</p> <p>【対策】 昨年度、開設した移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA」を通じて、各事業課が実施するアクションプランを統一した都市イメージで発信するとともに、各アクションプランを活用したシティプロモーションを推進するため、各事業へのコミットした企画を提案することで、より効果の高いものとする。</p>				

●施策の方向性②かかみがはらブランドの発信

事業番号	81201	事業名	かかみがはらブランド発信事業	担当課	広報課
事業概要	本市の魅力を効果的に伝えるシティプロモーションを展開します。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 シティプロモーション戦略プランに基づき、「魅力づくり」のアクションプランを効果的に発信するため、「共感づくり」のアクションプランを推進している。昨年度、移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA」を開設し、市民ライターによる本市の魅力ある「ヒト・モノ・コト」の発信を行うとともに、ウェブサイトに関連したタブロイド紙を発行し、本市の「ちょっといい暮らし」を発信している。また、関市、美濃加茂市と連携し、名古屋テレビ塔周辺で開催される「SOCIAL TOWER MARKET」へ出展し、広域的なプロモーション活動を実施した。</p> <p>【課題】 本市への情報接触件数を増やしていくため、移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA」のさらなる活用を推進する必要がある。また、イオンモール各務原には市外から多くの若い世代の方が来館しているが、これまで十分な連携ができていなかった。</p> <p>【対策】 ウェブサイトの更新頻度を増やし、情報接触件数の増加を図るとともに、どの記事に反響が多かったなど、サマリーを分析することにより、よりよいウェブサイト運営を行っていく。 また、H29.3月にイオンモール各務原と地域連携協定を締結し、最重要項目に「移住定住・市の魅力発信」に関することを位置づけている。その連携の中でイオンモール各務原内に移住定住総合窓口を位置し、本市への移住定住の促進とまちの魅力の発信につなげていく。</p>				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	工業

●目指す姿

●市内における次世代産業が発展するとともに、企業が持つ技術力・開発力が高度化されることにより、県内トップのものづくりのまちとして成長しています

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）支援企業の満足度	81.0%	66.7%	70.6%				UP	産業政策室
（客）製造品出荷額等（年間）	6,707億円	6,903億円	6,900億円				7,000億円	産業政策室

●施策の方向性①企業誘致と市内企業の活性化

事業番号	82101	事業名	ビジネスマッチング事業	担当課	産業政策室 商工振興課
事業概要	市内企業のビジネスマッチングを促進し販路開拓・拡大を図るため、大都市圏において開催される展示会等へ出展し、市内企業の技術力や市内産業集積を広く紹介する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 航空機、ものづくり基盤技術、医療福祉機器の大規模展示会へ出展し、多くの商談機会が生まれたが、企業はよりビジネスに直結する商談機会（マッチング）を求めている。</p> <p>【課題】 展示会に継続して出展する企業がある一方で、これまで出展を考慮しなかった企業も多数存在する。こうした企業にも出展機会を提供し、販路開拓・拡大につながる支援をする必要がある。</p> <p>【対策】 企業の満足度をさらに上げていくため、企業との意見交換を密にし、企業側のニーズにあった展示会出展支援を行う。また、現在出展している展示会のほかにも効果が見込めるものを検討するとともに、ブースでの展示のほか、個別のマッチング支援を実施するなどしてビジネスマッチングを促進する。</p>				

事業番号	82102	事業名	企業立地支援事業	担当課	商工振興課
事業概要	<p>新たな活力を呼び込むため、市内工業団地等への企業立地を促進する。各務原市企業立地助成要綱、各務原市テクノプラザ2期企業立地助成要綱、各務原市企業設備投資促進事業助成要綱に基づき、固定資産税相当額の全部又は一部の助成を行う。</p>			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 市内製造業は概ね堅調に推移しているものの、現在、テクノプラザ地域については売却する用地が無く、新たな企業誘致が困難な状況にある。平成28年度は、民・民での開発の動きがあり、県の企業誘致課と連携をし、情報提供を行った。</p> <p>【課題】 現在、主だった工場用地がないため、企業の立地問合せに対応出来ておらず、企業誘致の機会を損失している可能性が高い。</p> <p>【対策】 今後も、県企業誘致課と連携を密にしなが、市内進出希望企業リストの作成を進める。また、小規模、あるいは工業団地外の用地を把握することで機会損失の防止に努める。 将来的に、各務山の土地利用において、工場用地としての利用を見据え、都市計画課と情報共有し、連携を図る。</p>				

事業番号	82103	事業名	企業活性化支援事業	担当課	商工振興課
事業概要	<p>企業・研究機関、大学等幅広く出展することにより、世界に誇るものづくりの技術、製品、研究開発成果等を一般に広くPRし、商機拡大を図る。また、出展者相互、来場者とのビジネスマッチングを行うことで、市場拡大に資することを目的とする。 ※隔年開催のため、平成28年度は実施なし。次回は、平成29年度に大垣市で開催予定。</p>			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 平成28年度は「ものづくりテクノフェア」の開催年に当たらなかったため（隔年開催）、次回、大垣で開催時の出展に向けて準備作業を行った。</p> <p>【課題】 県内最大の産業見本市である「ものづくりテクノフェア」を最大限に活用し、市内産業のより効果なPRの手段について、あらためて考察する。</p> <p>【対策】 市内産業の掘り起こしのための企業訪問を行うとともに、ものづくりテクノフェアの主催者である岐阜県工業会と連絡調整を行い、より効果的な事業実施のための検討に入る。</p>				

事業番号	82104	事業名	各務原市小口融資助成事業	担当課	商工振興課
事業概要	岐阜県信用保証協会の信用保証制度を活用し、融資を円滑かつ迅速に行い、市内中小企業の経営の安定化を図る。各務原市小口融資利用者が県信用保証協会に支払う保証料の一部補助、貸付期間内に完済した者に対し、利子を一部補給することで、申請者の負担を軽減する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 岐阜県信用保証協会の信用保証制度を活用し、資金面から市内中小企業の経営安定化を図っている。事業者からの融資依頼後速やかに保証料補助の案内を行うほか、条件に基づき完済した者に対しては速やかに利子補給制度の案内を行い、事業者の負担を軽減している。</p> <p>【課題】 融資件数の増加と迅速化を目途として融資審査会を廃止した(平成23年度)ことにより、信用保証協会や金融機関等との情報共有の機会が限られている。そのため、事業者が効果的に本制度を活用できるよう連絡調整を密にする必要がある。</p> <p>【対策】 信用保証協会を招いた情報交換会を開催するとともに、金融機関との連携を密にする。</p>				

●施策の方向性②ものづくりの高度化

事業番号	82201	事業名	ものづくり高度化支援事業	担当課	産業政策室
事業概要	市内企業が持つ課題(販路開拓、設備投資、技術開発、人材育成、新規事業等)を解決し高度化を促すため、国等施策の活用支援や先進技術・事例の情報提供、ビジネスマッチングシステムへの参画等を通じた企業支援を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 金融機関等と連携したセミナー開催(国等施策情報、最新産業動向等)により、市内外の企業等への効果的な情報発信を行った。また、市内企業の国等施策の活用を支援し、企業の課題解決を促した。</p> <p>【課題】 市内企業に対して各種施策情報を提供し、その活用を支援している。今後も一層の情報提供に努め、さまざまな企業の支援を実施する必要がある。</p> <p>【対策】 企業訪問などにより、企業が求める情報を提供する。また、市内企業が持つ技術などの情報を外部に向けて発信していく。</p>				

●施策の方向性③産官学の連携強化

事業番号	82301	事業名	産官学連携推進事業	担当課	商工振興課
事業概要	<p>「食」のちからで、日本を元気にする商談会「フードセレクション」へ参加し、バイヤーとの商談、アフターフォローを通じ、販路の拡大連携を図る。意欲的な企業を後押しする仕組みをつくり底上げを図ることで、更なる商業振興、地域活性化を図る。</p>			担当課 評価	<p>事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる</p>
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 平成28年11月8日(火)、9日(水)に開催された同展示会へ出展した。出展にあたっては、各務原商工会議所と連携し、市内から和菓子等を扱う3社(株)セサミライフ、(株)餅信、(株)緑水庵)を選定した。 地方銀行にも協力いただき、勉強会や打ち合わせ等を重ねて展示会へ臨み、3社で187件の名刺交換をはじめ、具体的な商談も進んだ。</p> <p>【課題】 一般的な「1ブース=1社」でなく、「2ブース=3社」という枠で出展したため、事前申込の商談やサポートが受けづらい実情があった。 当課で全国規模の食品展示会へ出店した実績がなく、展示会に関するノウハウがなかった。</p> <p>【対策】 継続的に出展することで、担当課、担当職員のノウハウを蓄積する。 当市ブースを所管する地方銀行や事務局等と情報共有し、展示会の運営方法を検討する。</p>				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	商業

●目指す姿

- 地域に根づき、市民や地域のニーズに対応した商業・サービス業が創出されています。
- 身近に魅力的な商店があり、市民が買い物をしやすい環境が整備されています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 創業塾参加者の満足度	76点	87点	87点				UP	商工振興課
(主) 商店主等の満足度	68.8%	-	-				UP	商工振興課
(主) 食料品などの買い物に不自由を感じない市民の割合	80.4%	-	75.7%				UP	商工振興課
(客) 創業塾参加者数（年間）	20人	29人	27人				20人	商工振興課

●施策の方向性①商業・サービス業の振興

事業番号	83101	事業名	商業活性化支援事業	担当課	商工振興課
事業概要	市内の商店街等の活性化を総合的に支援するため、各務原市商店街等活性化総合支援事業補助金を交付する。 地域の課題についての情報を共有し、必要な支援策を検討する中で、地域に密着した商業・サービス業の振興を支援していく。			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 各務原商工会議所と連携を図りつつ、商店街等の支援に取り組むほか、平成27年度に引き続き、民間事業者による移動スーパーの取り組みも検討されている。</p> <p>【課題】 高齢化の進展や個々の商業施設の状況等様々な外的要因が影響し、商業振興施策の効果が直接現れにくい部分もあるが、買い物環境が悪化する大きな要因は見受けられない。また、市や国の補助金が商店街の活性化に寄与しているのか考察する必要がある。</p> <p>【対策】 商店街や商店主との意見交換を積極的に進めていくことにより、商店主の生の声を拾い上げ商業活性化支援事業を実施していく。また、平成29年度からは、市単独での商店街LED化補助制度を開始するなど、地域の商業・サービス業をさらに支援していく。</p>				

●施策の方向性②新たな事業や起業への支援

事業番号	83201	事業名	起業支援事業	担当課	商工振興課
事業概要	<p>創業や経営の支援に関する情報を提供し、地域の特性を活かしたビジネスや起業を誘導するため、平成26年10月、県内で5番目となる認定を受けた産業競争力強化法の「創業支援事業計画」に基づき設置した、起業相談ワンストップ窓口を活用しながら、起業しやすい環境作りを行う。</p>			担当課 評価	<p>事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる</p>
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 創業支援事業計画の策定により、他の機関でも支援事業が豊富になっており、気軽に創業の相談をしようとする流れができつつある。今後も計画のブラッシュアップや各支援機関の調整等を行い創業マインドの喚起に努め、創業計画の主軸であり、創業に必要な知識をひと通り学ぶことができる創業塾(各務原商工会議所主催創業セミナー)への参加を促していく。</p> <p>【課題】 他の機関でも支援に力を入れるようになり、セミナーが乱立しているため、今後は、セミナー参加者の確保や創業希望者の掘り起こしが課題となる。</p> <p>【対策】 従来からの創業セミナーについて、より広く周知することはもとより、国の「創業支援事業者補助金」事業の一環である「兼業・副業を通じた創業等を促進するパイロット事業」に新たに取り組むなど、市内での創業環境の向上に努める。</p>				

事業番号	83202	事業名	クラウドファンディング事業	担当課	産業政策室
事業概要	<p>各務原市、美濃加茂市、関市の3市連携によるクラウドファンディングシステムを構築し、3市における地方創生に関する活動(イベント開催、新規起業の応援、新商品の開発、販路拡大等)を資金調達面から支援する。</p>			担当課 評価	<p>事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる</p>
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 平成27年11月から関市・美濃加茂市・各務原市の3市が連携しサイト運営を開始した。平成27年には各務原市関連のプロジェクト1件(まちおこし映画の制作・上映)が目標金額の調達に成功した。従来の市の補助制度等では支援が困難であった市民主体プロジェクトの資金調達を支援することができ、地域の活性化に繋がった。なお平成28年度は3件のチャレンジがあり、うち1件が目標金額を達成している(各務原カフェ)。</p> <p>【課題】 今後、クラウドファンディングサイトを使用して、プロジェクトに挑戦したいと考える人、プロジェクトを支援したいと考える人双方の母数を増やし、活気あるサイトを運営していく必要がある。</p> <p>【対策】 各務原・関・美濃加茂の3市間の連携や、サイト運営会社との連携によるプロジェクトの発掘、サイトの広報を継続する。また、平成28年度に開設した「かかみがはらビジネス相談窓口」を活用した広報に取り組む。</p>				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	観光・交流

●目指す姿

<p>●交流人口が増えることにより市内が活性化されています。</p> <p>●観光資源のブランド力が高まり、市内外に本市の魅力が伝わっています。</p> <p>●かかみがはら航空宇宙科学博物館や河川環境楽園の来訪を通じて、本市に魅力を感じています。</p> <p>●国内外の都市との交流が活発に行われ、教育、文化、産業などで活力が高まっています。</p>

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）活気がある賑やかなまち と思う市民の割合	39.9%	-	41.0%				UP	観光交流課
（客）観光入込客数（年間）	576万人	660万人	661万人				576万人	観光交流課

●施策の方向性①魅力ある観光プランの充実

事業番号	84102	事業名	観光PR事業	担当課	観光交流課
事業概要	観光展への出展により、各務原市への観光誘客増進を図る。岐阜県・岐阜県観光連盟主催又は各種協議会主催の各種観光展にて、パンフレットの配布や特産品販売等の観光PRを実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 岐阜県、岐阜県観光連盟、及び各種協議会主催の各種観光展に出展し、観光パンフレット等の宣伝素材の配布や、市特産品の販売などによるPRを実施した。</p> <p>【課題】 多くの出展をし、多くの素材を配布することにより、宣伝素材の不足が生じることがある。</p> <p>【対策】 観光展等において、対象ターゲットを見極めることにより、効果的な宣伝素材の配布を心がける。</p>				

●施策の方向性②観光資源のブランド化

事業番号	84201	事業名	各務原キムチ推進事業	担当課	観光交流課
事業概要	『各務原キムチ』のブランド力向上のため、イベント出展のほか、宣伝活動、普及活動を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 地域の資源として一定程度定着している各務原キムチの認知度向上、ブランド化をさらに進めるため、イベントへの出展等により市内外へ発信している。</p> <p>【課題】 市内外への各務原キムチブランド浸透のため、イベント等において「各務原キムチ鍋」を出品してきたところではあるが、夏期のイベントにおいては来場者への訴求力が弱く、年間を通してのPRに課題がある。</p> <p>【対策】 新たに「各務原キムチカレー」や「キムチ焼きそば」をイベント用に開発し出品することで、年間を通じた訴求力向上を図り、各務原キムチブランドのさらなる強化を進める。</p>				

事業番号	84202	事業名	各務原ブランド創出イベント事業	担当課	観光交流課
事業概要	各務原ブランドの向上のため、各種イベントを実施し、各務原市への誘客を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 桜まつりや河川環境楽園夏フェス、おがせ池夏まつり等年間を通じたイベントを実施し、多くの観光客の来訪を図っている。</p> <p>【課題】 近年の法改正や社会情勢の変化により、安全確保等の主催者として果たす必要がある義務が増加し、それに伴う運営体制の見直しが必要となっている。</p> <p>【対策】 法令や関係機関の指導に対応する運営体制を整えることにより、観光客が安心して来場できる環境をつくとともに、来場者の満足度向上を図る。</p>				

●施策の方向性③観光振興に向けた連携の強化

事業番号	84301	事業名	広域観光推進事業	担当課	観光交流課
事業概要	「木曾川～夢とロマン～まちづくり盟約」に基づき、中山道鶉沼宿と犬山市との都市交流の促進を図るため、中山道鶉沼宿でイベントを開催する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 観光先進地である犬山市と連携しイベントを開催することにより、犬山市の持つ発信力との相乗効果による誘客を図って中山道鶉沼宿において年2回イベントを実施している。</p> <p>【課題】 イベント開催時には多くの観光客が訪れるものの、来場された方のリピート率を上げ、年間を通じた観光客数の増加に結び付けていく必要がある。 また、鶉沼宿への来訪客を調査したところ、犬山城とのリンクよりも、同じ中山道を通じた来訪客の方が多いため、今後は中山道間での連携強化が必要となる可能性を秘めている。</p> <p>【対策】 鶉沼宿ボランティアガイドの活動(市内史跡巡りウォークシールラリーの実施等)との連携により、リピート率を高める。 また、美濃中山道連合との情報共有及び、美濃加茂市太田宿との連携を図り、集客効果の増大を図る。</p>				

●施策の方向性④かかみがはら航空宇宙科学博物館の充実

事業番号	84401	事業名	かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル事業	担当課	航空宇宙科学博物館リニューアル推進室
事業概要	航空宇宙産業は今後さらに成長することが見込まれるため、生産拡大に対応するための技術者・技能者の育成・確保が課題となっている。次代を担う子どもたちに航空宇宙産業の魅力や夢を伝え、就業意欲を醸成・喚起する。 かかみがはら航空宇宙科学博物館のリニューアルにより、施設の増築、展示の拡充、教育・体験プログラム等のソフト事業の拡充を行い、魅力の向上を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 航空宇宙科学博物館の建築工事及び展示製作は予定通り順調に進捗している。 リニューアル後に教育・体験プログラム等のソフトの充実させるため、岐阜県と調整を進めている。</p> <p>【課題】 リニューアル後の博物館は、県・市が積極的に運営に関わるとともに、専門家の知見を博物館の教育・体験プログラム等のソフト事業に十分活かせる体制にすることが求められる。</p> <p>【対策】 航空機分野だけにとどまらず、リニューアル後は、宇宙分野に詳しい有識者にご協力いただき、展示物や博物館運営について、専門的知見やアドバイスなどの助言をいただき、それらを取り入れ、次代を担う子どもたちに専門性の高い宇宙の情報をわかりやすく伝え、航空宇宙産業に対する就業意欲を醸成・喚起する。</p>				

事業番号	84402	事業名	航空宇宙科学博物館整備事業	担当課	航空宇宙科学博物館
事業概要	老朽化のため改修が必要となった施設・設備について、計画的な修繕工事等による維持管理を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 事務室の空調機が老朽化のため改修が必要となったため、リニューアル工事前に、必要最小限の修繕を実施をした。また、リニューアル工事前に、計画的な修繕により維持管理をすることができた。</p> <p>【課題】 リニューアル後は、岐阜県と各務原市での共同運営となるため施設及び設備に関しての長寿命化計画を見直していく必要がある。</p> <p>【対策】 平成30年3月24日のリニューアルオープンに向けてリニューアル工事を実施。</p>				

事業番号	84403	事業名	モノづくり教室事業	担当課	航空宇宙科学博物館
事業概要	青少年に夢を与えるモノづくり体験の場として多くの方に興味を持って参加していただけるよう、様々な体験型モノづくり教室を開催する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 体験型の事業を提供するモノづくり教室の内容の充実と航空宇宙科学博物館来館者へのPRにより、参加者は増加している。</p> <p>【課題】 10月より本館がリニューアル工事のため一時閉館となり、教室する開催場所をVRテクノセンターへ移動して開催しているが、広さが以前の博物館の工房に比べて手狭となっている。</p> <p>【対策】 リニューアル工事期間中もリニューアルPR事業を進めるとともに、代替地となったVRテクノセンターで開催できるモノづくり教室は継続的に実施し、博物館の魅力を発信していく。</p>				

●施策の方向性⑤都市間交流の推進

事業番号	84501	事業名	都市間交流事業	担当課	観光交流課
事業概要	友好都市の福井県敦賀市を市民休養の郷と定め、市民の安らぎと憩いの場として利用するための費用を助成する。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 友好都市である敦賀市との交流を進めるため、相互訪問や宿泊費助成を行っている。</p> <p>【課題】 宿泊費助成は一定程度市民に定着している事業であり平成28年度は238名の利用があったが、983名の利用があったピーク時(平成15年)に比べて低下している。</p> <p>【対策】 市民休養の郷利用助成は当初の目的を達成したため、平成29年度を持って終了する。敦賀市との交流に関しては今後検討していく。</p>				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	農業

●目指す姿

<p>●農業の担い手となる人材が育ち、農業経営基盤が強化されることにより、優良な農地が確保、保全され、安定的な農業経営が確立されています。</p> <p>●市民が地元産の農産物への理解を深め、地産地消が根づいています。</p> <p>●適正な森林整備により森林の多面的機能が維持されています。</p>
--

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）地元産の農産物を意識して購入する市民の割合	41.9%	-	41.8%				UP	農政課
（客）担い手の耕作面積	138.7ha	169.8ha	194.3ha				200.0ha	農政課

●施策の方向性①農地の保全と活用

事業番号	85101	事業名	農地保全活用推進事業	担当課	農政課
事業概要	<p>農業振興地域整備計画に基づき、優良な農地の確保と保全に努めるとともに、遊休農地の発生防止に取り組む。また、担い手への農地の利用集積を推進し、有効利用を図る。</p>			担当課評価	<p>事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる</p>
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 農地パトロールなど農地の適切な現状把握と管理指導により、優良農地の確保と保全に努めている。また、利用権の更新時期となる土地をリストアップし担い手への利用集積を推進している。</p> <p>【課題】 農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、遊休農地の発生が予想される。</p> <p>【対策】 農業委員、農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構など関係機関と連携を図り、担い手への農地利用の集積・集約化を推進して優良農地を確保する。</p>				

●施策の方向性②新規就農者の育成

事業番号	85201	事業名	担い手育成事業	担当課	農政課
事業概要	意欲のある担い手の育成・確保に努めるとともに、県・JAと連携して就農相談や青年就農給付金事業に取り組み、新規就農者の育成、支援を図る。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 国や県と連携し新規就農補助事業を推進しており、県や農業協同組合等、関係機関と連携を図り、制度のPRを進めている。その結果、青年就農給付金制度に関する農家等からの問い合わせが2～3件あり、その都度相談に乗っており、事業は徐々に認識されつつある。28年度の給付金実績は0件であるが、新規就農希望があり、全農の研修等を受けられた。</p> <p>【課題】 新規就農を目指すにあたり、耕作機械や圃場の確保、更には様々な申請手続き(書類作成)が必要であり、希望者にとって煩雑である。</p> <p>【対策】 29年度から給付金事業名が「農業次世代人材投資事業(経営開始型)」に変更されるため、さらに県、農業協同組合等と情報共有を図り、新規就農制度や、補助制度等の情報を生かしていただけるよう支援を進める。現在イチゴの新規就農希望が1件あるので、給付金の活用等を支援していく。</p>				

●施策の方向性③農産物の生産支援

事業番号	85301	事業名	安全・安心農産物生産支援事業	担当課	農政課
事業概要	ぎふクリーン農業を推進し、地元産農産物の安全性を市場と消費者にPRする。そのために積極的に地元産農産物の残留農薬の自主検査を促進し、その経費の一部を助成する。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 農作物の安全を確保するため、残留農薬等自主検査費用補助事業等の実施により、農薬使用量の削減を推進する活動が展開される等、安全意識が向上している。</p> <p>【課題】 「ぎふクリーン農業登録面積」は、既に一定の面積を確保しているため、今後は、啓発を継続して行うとともに、この面積を維持し続けていくことが必要であると考えられる。また、県や農業協同組合との連携を図り、地元産農産物の安全性を市場と消費者にPRする必要がある。</p> <p>【対策】 積極的な残留農薬の自主検査を啓発するとともに、市民に地元産農産物を意識して購入していただけるよう、県や農業協同組合との連携を図り、地元産農産物が「安全・安心」であることを啓発する。特に特産物の主力である人参は、産学官連携協定を足がかりに、人参を使用したお菓子の商品化やレシピの考案等、どこにも負けない各務原人参のおいしさを様々な啓発事業を通じてPRする。地元産農産物には、人参の他にも、キャベツやナス等、年間を通じて様々な品目が出荷されている。県、農業協同組合及び商工会議所等との連携を強化し、地元産農産物を小売店でもPRしてもらい、消費者に積極的に購入していただくような工夫を行うとともに、啓発イベント、小学校等への出前講座を実施する。</p>				

●施策の方向性④農業基盤整備の推進

事業番号	85401	事業名	農業生産基盤整備事業	担当課	農政課
事業概要	用排水路等農業施設の適切な管理に努めるとともに、老朽化施設の更新・延命化を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 老朽化した農業用施設に対し、定期的な点検により、著しい機能不良になる前に計画的に補修・改修を進めている。</p> <p>【課題】 用水の使用時には工事ができないため、工事期間が限定される。また、農事改良組合や自治会から毎年多くの要望が提出され、その内容が多様化してきている。</p> <p>【対策】 設計業務委託を早期発注させることで、水田終了直後に工事が着手できるよう、前年度から準備をする。また、要望の内容を十分に把握し、また費用対効果や整備手法等を勘案することにより、一つでも多くの要望に応えていく。</p>				

●施策の方向性⑤地産地消の推進

事業番号	85501	事業名	学校給食地産地消推進事業	担当課	農政課
事業概要	学校給食において、安全・安心な県内産農産物を積極的に活用し、地産地消に基づいた食育を推進し、県内産農産物の継続的な消費拡大を図る。 県、市、農協中央会で学校給食に使用する県内産農畜産物の購入経費の一部を助成する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 当事業の継続実施により、学校給食における、安全・安心な県内産農産物の積極的活用が、順調に展開されている。</p> <p>【課題】 より一層の推進を図るためには、教育委員会や学校給食会との調整が必要である。</p> <p>【対策】 少しでも多く、県内農産物を使用していただけるよう、農業協同組合との連携も図りつつ、教育委員会や学校給食会との調整を進めていく。</p>				

事業番号	85502	事業名	市民農園運営事業	担当課	農政課
事業概要	野菜や草花の栽培など自らの農業体験を通して、農業への理解を深めるとともに、地産地消、食の安心安全についての意識の高揚を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 市民向けに農園を提供しているが、複数年度更新して利用されている方もおり、開設の目的を現状果たせていると考えている。また、新規で利用される方も多数おり、多くの人が市民農園に興味を持っている。</p> <p>【課題】 一部雑草等管理が不適当な利用者があり、適正な利用が求められる。また、西側地区（那加、蘇原地区）は農園区画数が少なく不足している。</p> <p>【対策】 定期的に農園の状況を確認して、適正な管理をしていただくように努めていく。また、東側地区（鶉沼地区）は若干農園利用に余裕があるため、東側地区における利用を促していく。</p>				

●施策の方向性⑥農商工連携の促進

事業番号	85601	事業名	農商工連携促進事業	担当課	農政課
事業概要	農業生産者等が栽培した地元産農畜産物を商工連携し加工販売または、農業者自ら加工・販売する農業の6次産業化を推進し、独創的な加工品の創出や、高付加価値化等のブランド力の向上を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 県等と連携し、6次産業化を推進しており、関係機関と連携を図り、PRを進めている。その結果、少しずつ問い合わせもあり、事業は徐々に認識されつつある。</p> <p>【課題】 6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定のためには、様々な申請手続き（書類作成）が必要であるほか、機械や圃場の確保等が必要であり、希望者にとって煩雑である。</p> <p>【対策】 県等と6次産業化についての情報共有を図り、当事業に関する様々な相談窓口として、農政課を気軽に訪れ、補助制度等の情報を生かしていただけるよう支援を進める。</p>				

●施策の方向性⑦森林の保全と活用

事業番号	85701	事業名	森林保全事業	担当課	農政課
事業概要	適正な森林整備に努め、森林の持つ多面的機能(水のかん養や山地災害の防止、地球温暖化防止など)の継続的な維持を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 森林の持つ多面的機能の回復を図り、補助金を利用した里山林整備により、計画された地域の不用木の除去を実施している。また、山林の遊歩道管理や有害鳥獣駆除等を通じて、森林の多面的機能の維持・増進に努めている。</p> <p>【課題】 現在の森林をとりまく状況を踏まえると、森林所有者が個人で森林整備を実施することは困難であることから、今後も森林の多面的機能を維持していくための方策が必要である。</p> <p>【対策】 里山林整備事業、森林病虫害駆除等事業、鳥獣被害防止事業等による各種補助金を用いながら、継続的に整備を実施していくことが必要である。</p>				

○総合計画ー達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	雇用

●目指す姿

- 働く意欲のある人材が集まり、活力に満ちた産業活動が展開されています。
- いきいきと働けるよう、求人・求職の環境が整備されています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）求職活動の環境が整っていると感じている市民の割合	18.2%	-	18.9%				UP	商工振興課
（主）雇用対策懇談会参加企業の満足度	66.7%	87.5%	95.0%				UP	商工振興課
（客）航空宇宙産業総合人材育成事業セミナー市内受講者の延べ人数	327人	332人	433人				350人	商工振興課
（客）雇用・人材育成推進協議会の会員企業数	86社	85社	85社				90社	商工振興課

●施策の方向性①多様な人材の育成

事業番号	86101	事業名	企業人材育成支援事業	担当課	商工振興課
事業概要	<p>市内の航空機産業に従事する人材の育成を支援するため、CAD/CAM研修や部品一貫生産、航空機部品の組立て研修等、現場で必要とされている様々な研修を行なう事業。実施にあたっては課題を抱える川崎岐阜協同組合と研修ノウハウを持つ市の第3セクターVRテクノセンター、市の三者で協定を結び、それぞれが様々な事業負担を行なう。</p> <p>また、平成27年11月4日付けで締結した、本市と米国ワシントン州エバレット市のエバレットコミュニティカレッジ(EVCC)との連携協定に基づき、連携事業や交流事業を行っていく。</p>			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 JETRO、中部経済産業局、岐阜県およびVRテクノセンターと共同で、人材育成プログラムを構築し、人材という観点から市内中小企業のグローバル化を進めている。</p> <p>【課題】 成長産業と言われる航空機産業ではあるが、その内実、市内中小企業には逆風が吹いている状況であり、人材育成に経営資源を充てられなくなりつつある。</p> <p>【対策】 あくまでも、会社経営あつての人材であるので、人材育成のみに焦点を当てず、販路拡大支援とセットとした展開とする。</p>				

●施策の方向性②次代を担う人材の育成

事業番号	86201	事業名	次世代人材育成事業	担当課	商工振興課、川島ライフデザインセンター、航空宇宙科学博物館
事業概要	<p>子どもたちに本市の産業を支えるものづくりの現場を紹介し、経営者の思いを伝えることで、地域への郷土愛や誇りを醸成し、次代を担う人材の育成を図ることなどを目的に、市内のものづくり企業を見学する事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり見学事業(寺子屋事業・商工振興課) ・航空人材育成プログラム(航空宇宙科学博物館) ・子ども企業家育成講座(川島ライフデザインセンター) 			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>■商工振興課 【現状】 市内在住の小学5、6年生を対象に平成26年度より3年間事業を実施した。延べ参加者数は360人を超えており、協力いただける市内事業者も増えている。 【課題】 毎年開催するコース等では、応募者数が減ってきているコースも出てきている。できるだけ多くの市内企業のものづくり現場に触れてほしいと考えているが、網羅できていないものづくり産業分野がある。対象が小学生に限定されることも課題である。 【対策】 新たに中学生コースの実施や木材加工産業等の分野を中心にしたコースを新設し、バリエーションを増やしていく。</p> <p>■航空宇宙科学博物館 【現状】 小中学生を対象に平成27年度から実施している航空人材育成プログラムでは、飛行を特徴づける主翼や尾翼などの航空機体の設計模擬体験をして、飛行原理を学習し、実機見学・搭乗体験を実施した。(平成28年度は3回開催)また、航空機の主要部位のひとつであるプロペラに着目し、3Dプリンターを使って、模型の設計・製作ソフト開発、設計・造形模擬体験も今年度は新たに実施した。 【課題】 29年度は、本館がリニューアル工事中のため今まで使用していた工房室が使用できないためVRテクノセンターにて、実施する予定だが会場が手狭だがプログラムを今までどおり実施する必要がある。 【対策】 協力していただいている日本宇宙少年団各務原分団及び中日本航空専門学校の関係者と協力して実施していく。</p> <p>■川島ライフデザインセンター 【現状】 お店の経営を疑似体験する「お店屋さん部門」と、自らの発想力で地元特産物を使った商品をプロジェクトし、形にする「おみやげ開発部門」の両講座を12回ずつ開催し、それぞれ定員一杯の15名に受講してもらうことができた。カルビー(株)による講義を行った。 【課題】 地元各務原に対する郷土愛が育まれるような更なるプログラムの向上が必要。 【対策】 講座の趣旨に賛同し協力いただける各方面の企業の開拓を行いメニューの拡充を図る。</p>				

●施策の方向性③就労を支援する環境整備

事業番号	86301	事業名	雇用確保促進事業	担当課	商工振興課
事業概要	<p>逼迫する雇用人材不足に対応するため、雇用人材育成推進協議会と連携しながら「女性」「高齢者」及び「域外人材」確保を目的とした支援事業を展開する。市内で働く意思のある女性の発掘や高齢者の雇用環境維持等で人材量を、また都市圏の有能なU、Iターン就職希望者を取込み、雇用の量と質の確保を目指す。</p> <p>また、各務原市に人材を呼込むため、主だった産業が無く比較的有効求人倍率の低い地域を広域で調査し、人材獲得の道筋を付ける。対象地域は県内のみでなく、県外まで広域に活動する。</p>			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 地元の大学や高校や、九州地区にある大学との連携を進めてはいるが、各務原市の有効求人倍率は3.14倍(H28.4値)と、高い値で推移し続けており、市内事業者の人手不足感が続いている。</p> <p>【課題】 製造業だけでなく、医療・福祉も含めたサービス産業への人材確保対策が必要であること、広域から人材を確保するために必要な福利厚生が整っていないこと。</p> <p>【対策】 平成29年度より新たに企業人材全力応援室を設け、企業ニーズに即した、きめの細かいサービスを展開していく。とりわけ県下7割の高校生が進学先として選定する、愛知県および岐阜県の大学と連携し、地域への就職循環を促す地育地就事業に注力する。同時に、今後益々進む少子化に備えた新たな労働力の確保を進めるため、広域での人材確保や、女性、高齢者の活用といった旧来の労働力という観念に捕らわれない働き方について、企業へ啓発していく。</p>				

事業番号	86302	事業名	雇用機会創出事業	担当課	商工振興課
事業概要	<p>国と共同運営で、地域職業相談室(シティハローワーク各務原)を開設。また、就職支援コーナーを設け、求職者の就業支援のほか、相談室利用時の託児サービスを行う。</p>			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 国と共同でシティハローワークを運営しながら、合同での企業説明を年間3回程度実施している。</p> <p>【課題】 有効求人倍率の高さは、裏返すと失職者の減であるので、厚労省の立場からは、シティハローワーク運営のメリットが低くなってきている。</p> <p>【対策】 求職者と求人者のミスマッチは依然大きいので、当市ならではのきめ細かい求職者支援を国と一緒に進めていく。</p>				

事業番号	86303	事業名	勤労者生活支援事業	担当課	商工振興課
事業概要	勤労者の生活安定のため、住宅建設等に要する資金、生活資金の融資斡旋を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状分析・課題・対策	<p>【現状】 景気回復ムードに伴い、住宅購入希望者が増加しつつあるが、一方で市場金利が低下しており、平成28年度の新規借入は0件であった。</p> <p>【課題】 当面、市中銀行の金利が低いまままだと思われるので、同制度利用のメリットが低い局面が続くと思われる。</p> <p>【対策】 金融市場動向に左右される制度ではあるが、今後も金融機関と連携し、本制度運用を継続するとともに、広報紙等へ記事掲載を行うなど制度活用希望者に本制度の情報が届くよう周知に努める。</p>				